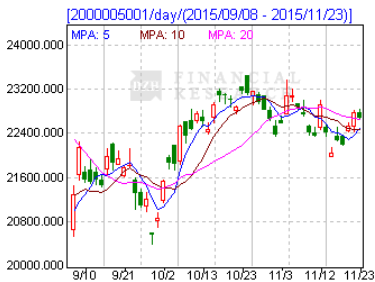


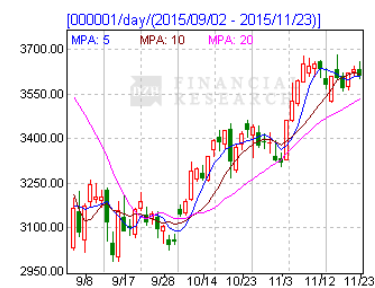


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

| | 直近値 | 前日比 | 変化率 (%) | 週間騰落率 (%) | 年初来騰落率 (%) | 14年末株価 |
|----------------|-----------|--------|---------|-----------|------------|-----------|
| NYダウ | 17,792.68 | -31.13 | -0.17 | 1.77 | -0.17 | 17,823.07 |
| NASDAQ | 5,102.48 | -2.44 | -0.05 | 2.36 | 7.74 | 4,736.05 |
| 日経225 | 19,879.81 | 20.00 | 0.10 | 1.44 | 13.92 | 17,450.77 |
| 上海総合 | 3,610.31 | -20.19 | -0.56 | 0.09 | 11.61 | 3,234.68 |
| 滬深300 (CSI300) | 3,753.34 | -21.05 | -0.56 | -0.29 | 6.22 | 3,533.71 |
| ハンセン | 22,665.90 | -88.82 | -0.39 | 2.98 | -3.98 | 23,605.04 |
| H株 | 10,229.43 | -72.57 | -0.70 | 2.51 | -14.65 | 11,984.69 |

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.6%高と反発、上海総合指数は1.4%高

ハンセン指数は1週間で1.6%高と反発。パリ同時テロを受けたリスク回避の売りで週初は売りが先行したが、次第に株式相場への影響は一時的との見方が強まり持ち直す展開となった。18日に公表された米FOMC議事要旨では12月の利上げの可能性が高まったが、逆に不透明感の後退が好感された。上海総合指数も1週間で1.4%高と反発。香港と同様に週初は売りが先行したが、その後は3600ポイントを挟んで一進一退の展開。中国政府による景気てこ入れ策への期待が相場を下支える要因となった。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、週末にかけ手控えムード強まる公算

香港市場は一進一退の展開が見込まれる。市場の焦点はすでに12月に米利上げが実施された後のペースに移っており、24日発表の7-9月期の米GDP改定値も予想を大きく下回らない限りは相場に与える影響も限定的になりそう。また、米国市場の休場や短縮取引で週末にかけて手控えムードが広がる公算が大きい。一方、本土市場も一進一退の展開か。根強い景気減速懸念やIPOの再開はマイナス材料だが、景気てこ入れ策の発表が相次いでおり、上海総合指数は引き続き3600ポイント近辺での推移が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

| ▼値上がり | 直近終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|------------------|-------------|---------|
| 1 昆侖能源 (00135) | 6.58 | 11.53 |
| 2 リー&フン (00494) | 5.74 | 7.69 |
| 3 華潤置地 (01109) | 21.80 | 6.86 |
| 4 ワーフ (00004) | 45.75 | 5.66 |
| 5 中国神華能源 (01088) | 12.90 | 4.88 |
| 6 百麗国際 (01880) | 7.17 | 4.82 |
| 7 CNOOC (00883) | 8.49 | 4.81 |
| 8 中国海外発展 (00688) | 26.55 | 4.73 |
| 9 信和置業 (00083) | 11.98 | 4.72 |
| 10 香港鐵路 (00066) | 37.10 | 4.65 |

| ▼値下がり | 直近終値 (HK\$) | 騰落率 (%) |
|--------------------|-------------|---------|
| 1 銀河娛樂 (00027) | 23.10 | -6.10 |
| 2 サンス・ファイナ (01928) | 26.25 | -3.85 |
| 3 華潤電力控股 (00836) | 15.22 | -2.56 |
| 4 康師傅控股 (00322) | 11.76 | -1.67 |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |

▼今週の期待材料

- ◆中国政府が22日と23日に相次いで消費促進策を発表。さらなる景気てこ入れ策が発表される可能性も
- ◆習近平国家主席、ロボットとスマート製造を科学技術振興の重点分野に位置付ける方針を表明
- ◆IMFが人民元の特別引き出し権(SDR)採用を30日に判断へ。人民元の国際化で信用力が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆本土市場で申込金の払い込みが必要な旧ルールによるIPOが再開。需給悪化懸念が相場の重しに
- ◆米国で26日が感謝祭の休場、27日が短縮取引。香港市場でも週末にかけ手控えムード広がる公算
- ◆パリ同時テロから1週間、欧州で新たなテロへの警戒続く。ベルギーではテロ警戒最高レベルを維持

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 信和置業 (00083) : 黄志祥会長が19万株を追加取得、持ち株比率は53.38%に上昇
- ☆ 中国中鉄 (00390) : 国内外で14件のプロジェクトを受注、総額438億3000万元
- ☆ 深セン高速道路 (00548) : 主力の機荷高速・東区間の通行料収入、10月は6%増加
- ☆ チャイナ・テレコム (00728) : 10月の3G・4G加入純増数は前月比9.5%増加
- ☆ 中国鉄建 (01186) : 石家荘市で総額44億5000万元のプロジェクトを落札
- ◇ 経緯紡織機械 (00350) : 大株主が株式75%を取得、12月29日にH株の上場廃止へ
- ◇ スカイワース (00751) : 15年9月中間決算は5.5%増益、ほぼ市場予想通り
- ◇ 電能実業 (00006) : 24日に株主総会開催、長江インフラによる吸収合併案を採決
- ★ 六福集団 (00590) : 26日に9月中間決算を発表、約4割の減益見通しを発表済み
- ★ 国泰君安国際 (01788) : 18日から会長と連絡が取れなくなっていることを明らかに

▼今週の主なイベント

- 11月24日(火)
- 【米国】GDP改定値(7-9月)
- 11月26日(木)
- 【香港】貿易統計(10月)
- 11月27日(金)
- 【中国】工業企業利益(10月)

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。